



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月4日

上場会社名 TOA株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6809 URL https://www.toa.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)竹内 一弘
 問合せ先責任者 (役職名)経理部長 (氏名)吉田 圭吾 (TEL) (078) 303-5620
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 2020年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (動画配信のみ)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	17,666	△14.9	△32	—	53	△95.8	△155	—
2020年3月期第2四半期	20,766	3.2	1,167	△1.2	1,278	△6.2	670	△5.6

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 570百万円 (△30.6%) 2020年3月期第2四半期 822百万円 (87.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△4.74	—
2020年3月期第2四半期	19.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	56,332	43,686	74.0
2020年3月期	58,653	44,780	72.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 41,682百万円 2020年3月期 42,756百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	10.00	—	16.00	26.00
2021年3月期	—	10.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年3月期配当金の内訳 安定配当20円 業績連動配当2円 記念配当4円

2021年3月期配当金(予想)につきましては、2020年5月13日に「2020年3月期決算短信」にて公表したとおり、安定配当20円に業績を加味して、連結配当性向35%を目安に決定いたします。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,500	△10.1	700	△79.8	750	△79.0	600	△71.0	18.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期2Q	34,536,635株	2020年3月期	34,536,635株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	2,017,172株	2020年3月期	657,114株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期2Q	32,826,435株	2020年3月期2Q	33,868,428株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

・当社は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、従来開催しておりました機関投資家向け決算説明会に代えて、決算説明動画および決算補足説明資料を当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境は、新型コロナウイルス(COVID-19)の世界的な感染拡大を受けて導入された公衆衛生措置が段階的に緩和され、最悪期を脱しております。しかしながら、感染再拡大への懸念から緩やかな回復基調に留まっており、依然として下振れリスクを含んでいる状況にあります。

このような環境の下、企業価値である「Smiles for the Public ——人々が笑顔になれる社会をつくる——」を実現するため、モノ・ヒト両面を通じて「お客さまとのつながり」をより一層強める活動を行っております。国内では、引き続き警戒の必要な自然災害への対策や、新たな社会・生活様式に対応した働き方改革などの社会情勢に沿った価値の提供を展開しております。具体的には業務用放送アンプのリニューアルにより、ネットワーク接続が可能となったことで、遠隔から動作状況の確認や設定調整ができるようになりました。また、IPホーンスピーカーを発売し、監視カメラやセンサー連動による、“密”回避といった注意喚起の自動放送を実現するなど安全安心に役立つ音の提供を進めております。また、世界5地域でのマーケティング活動の効率を高め、お客さまとのつながりをより一層強めることを目的に、新たなシステム基盤を導入・稼働し、それぞれの市場環境に応じてユーザーの満足度をより高いレベルで実現させる取り組みを進めてまいりました。

しかしながら、グループ全体で新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、当第2四半期連結累計期間における売上高は17,666百万円（前年同四半期比△3,100百万円、14.9%減）となりました。利益については、販売費及び一般管理費は減少しましたが、営業利益は△32百万円（前年同四半期比△1,200百万円）、経常利益は53百万円（前年同四半期比△1,225百万円、95.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は△155百万円（前年同四半期比△825百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(日本)

売上高は11,538百万円（前年同四半期比△1,216百万円、9.5%減）、セグメント利益（営業利益）は1,898百万円（前年同四半期比△659百万円、25.8%減）となりました。

減災・防災市場向けの販売は堅調に推移し、また鉄道車両向けの出荷は増加しましたが、経済活動の停滞などにより音響機器の販売が低迷したことなどにより、売上高、セグメント利益は減少しました。

(アジア・パシフィック)

売上高は2,794百万円（前年同四半期比△1,018百万円、26.7%減）、セグメント利益（営業利益）は428百万円（前年同四半期比△283百万円、39.9%減）となりました。

ベトナムでは官公庁向け大型案件の納入が進むなど、販売は堅調に推移しましたが、インドネシアやタイでの販売が低迷したことなどにより、売上高、セグメント利益は減少しました。

(欧州・中東・アフリカ)

売上高は1,852百万円（前年同四半期比△476百万円、20.5%減）、セグメント利益（営業利益）は133百万円（前年同四半期比△163百万円、55.2%減）となりました。

欧州全体での経済活動停滞の影響により、売上高、セグメント利益は減少しました。

(アメリカ)

売上高は787百万円（前年同四半期比△264百万円、25.2%減）、セグメント利益（営業利益）は4百万円（前年同四半期比△57百万円、92.3%減）となりました。

アメリカでは、官公庁向け案件の納入が進みましたが、小売店向けの音響機器の販売が伸び悩み、売上高、セグメント利益は減少しました。

(中国・東アジア)

売上高は692百万円（前年同四半期比△123百万円、15.2%減）、セグメント利益（営業利益）は54百万円（前年同四半期比△61百万円、53.1%減）となりました。

香港や台湾では複数の大型案件の納入が進み、販売は堅調に推移しましたが、中国での販売が伸び悩み、売上高、セグメント利益は減少しました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は56,332百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,321百万円の減少となりました。資産の部の減少の要因は、売上債権や有価証券の減少などによります。負債及び純資産の部の減少の要因は、仕入債務の減少や自己株式の取得などによります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は15,132百万円となり、前連結会計年度末に比べ975百万円の減少となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

売上債権の減少額3,137百万円、仕入債務の減少額△1,265百万円などにより、営業活動による資金の増加は1,464百万円となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

生産・開発設備の取得による支出459百万円などにより、投資活動による資金の減少は575百万円となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

自己株式取得による支出1,004百万円や、配当金の支払682百万円などにより、財務活動による資金の減少は1,719百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の通期の業績予想につきましては、「2020年3月期決算短信」にて公表しております当初予想から変更していません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,610	15,793
受取手形及び売掛金	10,312	7,120
有価証券	1,200	—
商品及び製品	6,845	6,724
仕掛品	1,045	707
原材料及び貯蔵品	3,065	3,654
その他	880	828
貸倒引当金	△75	△40
流動資産合計	38,885	34,788
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,237	6,114
その他	4,342	4,863
有形固定資産合計	10,579	10,978
無形固定資産		
1,599	1,599	1,465
投資その他の資産		
投資有価証券	6,163	7,680
その他	1,426	1,420
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	7,589	9,100
固定資産合計	19,768	21,543
資産合計	58,653	56,332

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,409	2,068
短期借入金	1,915	2,060
未払法人税等	332	146
引当金	176	161
その他	3,348	3,070
流動負債合計	9,183	7,507
固定負債		
退職給付に係る負債	2,841	2,788
その他	1,848	2,349
固定負債合計	4,689	5,138
負債合計	13,872	12,645
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,279	5,279
資本剰余金	5,058	5,061
利益剰余金	30,236	29,397
自己株式	△385	△1,370
株主資本合計	40,189	38,368
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,682	4,739
為替換算調整勘定	△1,009	△1,322
退職給付に係る調整累計額	△104	△102
その他の包括利益累計額合計	2,567	3,314
非支配株主持分	2,024	2,004
純資産合計	44,780	43,686
負債純資産合計	58,653	56,332

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	20,766	17,666
売上原価	11,525	10,288
売上総利益	9,240	7,377
販売費及び一般管理費	8,072	7,409
営業利益又は営業損失(△)	1,167	△32
営業外収益		
受取利息	24	14
受取配当金	45	50
助成金収入	—	78
その他	84	75
営業外収益合計	154	218
営業外費用		
支払利息	32	35
為替差損	6	89
持分法による投資損失	—	3
その他	5	5
営業外費用合計	43	133
経常利益	1,278	53
特別損失		
解体撤去費用	—	11
特別損失合計	—	11
税金等調整前四半期純利益	1,278	42
法人税等	380	163
四半期純利益又は四半期純損失(△)	898	△121
非支配株主に帰属する四半期純利益	227	34
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	670	△155

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	898	△121
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	272	1,057
為替換算調整勘定	△357	△369
持分法適用会社に対する持分相当額	—	0
退職給付に係る調整額	8	4
その他の包括利益合計	△75	691
四半期包括利益	822	570
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	637	590
非支配株主に係る四半期包括利益	185	△20

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,278	42
減価償却費	668	704
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	21	△40
持分法による投資損益 (△は益)	—	3
受取利息及び受取配当金	△70	△64
為替差損益 (△は益)	20	△16
支払利息	32	35
助成金収入	—	△78
未払金の増減額 (△は減少)	△249	△206
売上債権の増減額 (△は増加)	2,240	3,137
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,158	△266
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,111	△1,265
その他	△514	△303
小計	1,158	1,680
利息及び配当金の受取額	71	73
利息の支払額	△33	△33
助成金の受取額	—	72
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△537	△327
営業活動によるキャッシュ・フロー	659	1,464
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△384	△411
定期預金の払戻による収入	612	447
有形固定資産の取得による支出	△1,619	△459
有形固定資産の売却による収入	5	8
無形固定資産の取得による支出	△86	△153
その他	△23	△7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,496	△575
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	413	162
自己株式の取得による支出	△0	△1,004
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△153	△164
配当金の支払額	△541	△682
非支配株主への配当金の支払額	△78	△30
財務活動によるキャッシュ・フロー	△360	△1,719
現金及び現金同等物に係る換算差額	△193	△145
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,391	△975
現金及び現金同等物の期首残高	19,660	16,108
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,268	15,132

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年5月13日開催の取締役会に基づき、自己株式1,390,000株の取得を行いました。この取得などにより、当第2四半期連結累計期間において自己株式が984百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が1,370百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

○税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	日本	アジア・パ シフィック	欧州・中東 ・アフリカ	アメリカ	中国・ 東アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	12,754	3,812	2,329	1,052	816	20,766	—	20,766
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,149	57	5	2	15	2,231	△2,231	—
計	14,904	3,870	2,335	1,055	832	22,998	△2,231	20,766
セグメント利益	2,557	711	296	62	115	3,744	△2,576	1,167

(注)1. セグメント利益の調整額△2,576百万円には、セグメント間取引消去40百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,616百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	日本	アジア・パ シフィック	欧州・中東 ・アフリカ	アメリカ	中国・ 東アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	11,538	2,794	1,852	787	692	17,666	—	17,666
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,410	33	9	2	12	1,468	△1,468	—
計	12,948	2,828	1,862	790	705	19,134	△1,468	17,666
セグメント利益	1,898	428	133	4	54	2,518	△2,550	△32

(注)1. セグメント利益の調整額△2,550百万円には、セグメント間取引消去0百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,551百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。